

平成 25 年度 大学職員情報化研究講習会 応用コース
第 1 分科会 第 3 グループ 討議経過と内容

1. 討議経過

- ・ 以下の項目について、順番に討議した。
 - (1) 目的と必要性
 - (2) 効果的な活用性
 - (3) 導入や運用の課題や問題点
- ・ 職員、教員、システムベンダーといった多様な視点から様々な意見が述べられた。
- ・ 時間が足りず、当分科会のテーマである「主体的な学び」という視点での討議はほとんどできなかった。

2. 内容（討議結果）

(1) 目的と必要性

- ・ 大学毎に目的は異なる。
<目的の例>
 - ✓ システム毎にバラバラとなっているデータを統合して、横断的に活用できるようにする。
 - ✓ 学生の主体的な学びに活用する。
- ・ 導入目的を明確にした上で、トップダウンで推進することが必要である。
- ・ 各種システムが乱立しないよう、大学としてのグランドレイアウトが重要である。

(2) 効果的な活用性

- ・ 具体的な活用方法についてはよい案がでなかった。
- ・ 活用方法の検討にあたっては、名古屋学院大学様での事例など、他大学のよい事例を学内に展開していくことが有効と考える。また、よい事例を学内に紹介していくことで、導入システムに対する教職員の理解を得られやすくなる。
- ・ 導入にあたっては、最初から全学部を導入して利用を強要するのではなく、まずは理解が得られている学科のみに導入し、使えるところから使ってもらい、発生する問題等を解決していきながら、利用範囲を広げて行くのがよいと考える。

(3) 導入や運用の課題や問題点

- ・ 大学の事情や、導入システム・機能にもよるが、以下のような問題点が発生する可能性がある。
 - ✓ 教員、学生の負担が増える。例えば学修ポートフォリオで、学生それぞれが目標や成果物・実績等を入力し、入力内容を教員が一つずつチェックして指導する場合、学生・教員双方にとって負担は大きくなる。
 - ✓ システム操作に慣れない教員はなかなかシステムを活用してくれない。

以上